

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		SOUNEXT 天久				公表日	R8年3月24日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		部屋数が多いため、プランナーの人数が足りている時はそれぞれの部屋に分かれ、児童を見守ることで、それぞれの遊びに合わせて安全に過ごす。	活動スペースの確保と安全管理を継続し、子どもが安心して過ごせる環境づくりに努めます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		個別対応児童に対して、サポートがつけるようにしている。	子どもの状態や利用人数に応じたプランナー配置を行い、個別対応の充実を図ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	3	4	車椅子を利用している子に対しての完全バリアフリー化は出来ていないと思います。(ラボの階段)	環境整備を進め、可能な範囲でバリアフリー化の検討を行います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか。	7		清掃の際に、アルコール消毒もおこない、感染症対策に努めている。児童が使用する毛布は洗濯をおこない、清潔に保っている。	清潔で快適な生活空間の維持と感染症対策を引き続き徹底します。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		静養室と事務所がその役割を担っている。プランナーの人数が足りていればその部屋を解放し体調不良や悩み事のある児童を個別に対応できる	個別対応が可能な環境を整え、安心して過ごせる体制を維持します。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	日にあった出来事を共有し、改善策を考える場を設けている。上司や同僚とは相談しやすい関係性である。	プランナー全体でPDCAサイクルを意識し、業務改善に取り組みます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎週金曜日にzoom保護者会をおこなっている。	保護者様の意見を積極的に把握し、業務改善にラボ全体で出来る範囲内で繋げていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎朝の朝礼で、報連相をへの意識。議事録をまとめパートの方にも共有している。スピード重視で改善案を実行に移す。	プランナーの意見共有を継続し、迅速な改善を行います。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		外部評価の活用と改善への反映に努めます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・ジョブメドレーやマイダスを活用して個人で学習するツールを活用している ・ミートアップや朝礼時に課題の振り返りをおこなっている	研修や自己学習の機会を確保し、専門性向上を図ります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		児発管が一人一人に対し、丁寧に作成している。また、その他プランナーにも共有もされている。	支援プログラムの作成・公表を継続し、プランナー間の共有を徹底します。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		モニタリングを行い、個別支援計画書をもとに児童に対して療育を行っている。	適切なアセスメントを行い、ニーズに基づいた計画作成を行います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		全プランナーが個別支援計画書をもとに児童に対して療育を行っている。	プランナー間での共通理解を深め、最善の利益を重視した支援を行います。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画書について事前にHUGで確認する方法を共有されているので、計画に沿った支援が行えていると思います。	計画に基づいた支援の実施と情報共有を徹底します。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	毎日の共有により、次のアプローチまで考えることができています。	日々の観察と評価を継続し、支援の質向上につなげます。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		モニタリングの内容をもとに色々な支援内容を設定を行っている。	ガイドラインに沿った支援内容の設定を継続します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		朝礼にて課題の説明がある。全員で意見を出し合い、疑問点は解消して、より良い時間となるよう心がけている。	チームでの活動立案を継続します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		カレンダー会議を行い、内容を全員で考えている。支援計画書をもとにお子様たちが楽しめる内容の活動プログラムを提供。	多様な活動を提供し、固定化防止に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		マンツーマン児童への個別活動や集団活動など状況に応じて対応を行っている。	個別活動と集団活動を適切に組み合わせます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援活動の内容を朝礼で共有し、チームで連携して支援を行っている。	事前打ち合わせを徹底し、チーム支援を強化します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	1日の流れを事前に作成し、その中で良い点や悪かった点、改善点などを話し合っている。	支援後の振り返りを行い、改善につなげます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の記録をしっかりと取り、より良い療育をチームで目指している。	記録の徹底と検証を継続します。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	児発管が定期的に行い、プランナーへ共有している。	定期的なモニタリングと計画見直しを行います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		生活能力向上のための訓練、公園での活動、制作活動、季節の行事など様々な支援を行っている。	基本活動を組み合わせた支援を継続します。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	児童の意思を確認することを心がけている。児童の成長のために何が必要かを考えて療育を行う。	自己決定を尊重した支援を行います。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児発管だけではなく、プランナーも時折参加することでより濃厚な情報共有を行うことが出来ている。	関係機関との会議に適切なプランナーが参加し、情報共有を図ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		保護者から現在の通院状況や薬の使用などの情報を聞き、共有している。学校の先生とも情報共有を行っている。	次年度は、医療・福祉・教育機関との連携を強化できるよう体制を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		年間・月間行事を年度初め・月初めにいただく、下校時間をスプシにまとめる、オフィシャルLINEでの学校とのこまめな下校時間のやり取りなどを行っている。	学校との情報共有と連携を継続します。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	児発管が丁寧に話を聞いてまとめ、全体に共有している。新規児童の情報は口頭でも文面でも、両方で共有している。	就学前機関との連携と情報共有に努めます。相談員との連携を強化。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	児発管が情報をまとめ、引き継ぎを行っている。	進路移行時のお子様の情報提供（個人情報使用同意書の範囲内）を適切に行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	定期的に相談員との会議を行い、情報共有やアドバイスを受けている。助言等を設ける機会は少ないが、今後必要に応じて対応。	専門機関からの助言や研修機会の充実を図ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		他のSOUラボでは、イベントを開催できている地域もあるので、ノウハウを学び、今後取り入れていきたい。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	積極的な参加は無いが、今後必要に応じて参加する。	他のSOUラボでは、イベントを開催できている地域もあるので、ノウハウを学び、今後取り入れていきたい。地域交流の機会について検討を
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		週に1度、家族支援を行い、定期的に情報共有をしている。お子様のこまめな引継ぎ、その際の保護者様からのお悩みなどを聞いて	保護者との情報共有を継続し、共通理解を深めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	ご家庭でも実施できる内容にブラッシュアップしお伝えしている。その際には画像や動画などでの説明も行っている。	家族支援の充実と情報提供を行います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		児発管を中心に丁寧に説明している。	利用時の丁寧な説明を継続します。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		モニタリング等でお子様や家族の意向を確認する機会を設けている。	お子様や保護者様の意向を尊重した支援を行います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		同意を得た後の文章はプランナーに公開され、いつでも確認できる状態である。	支援内容の説明と同意取得を徹底します。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		月4回行われる家族支援で保護者様と日程を調整後、お子様の様子を共有をしながらプランナーからの助言を行って	相談支援と助言の充実に努めます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	1	お楽しみ会の時に、保護者参加型にして、その後相談会を開催。毎週金曜日にzoom保護者会の実施。	保護者交流の機軸の充実に努めます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		毎朝、毎夕保護者LINEを確認して、即レスを心掛けてます。	苦情対応体制を維持し、迅速な対応を行います。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		インスタグラムでの毎日課題内容の投稿を行っている。	SNSや通信等による情報発信を継続します。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		管理者の基でプランナーへ個人情報の管理方法を発信。個人情報に関しては十分に留意しながら対応。	個人情報管理を徹底します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		お子様へ分かりやすい言葉や方法を用いて、丁寧な意思疎通と情報共有を行う。	分かりやすい言葉や方法を用いた意思疎通に努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		地域に開かれた事業運営に向け、イベント等を検討。
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		本社作成のマニュアルが出来ており、全プランナーへ共有されている。	各種マニュアルの周知と訓練を継続します。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		活動へ防災訓練等を組み込み対応。	BCPの整備と防災訓練を実施します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	2		服薬に関しては、情報共有されている児童もいるが、全員かどうかは定かでない。毎年度保護者様へ基本情報更新のヒヤリングを行う。最新情報アレルギー対応の徹底を図ります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	事前に保護者からアレルギーについての共有されており、クッキング活動はアレルギー該当児童への配慮しながら活動を設定。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		会社全体での研修、zoom会議。	安全管理に関する研修と体制整備を継続します。

へ 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	トラブル・アクシデント等がある場合は、すぐに保護者様へのとの連携を取れる体制を整えて対応。	安全計画の周知と保護者連携を強化します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	管理者・CPを中心にヒヤリハットを共有する時間を確保し、再発防止に向けた会議を行い実行に移せる体制を整えてる。	ヒヤリハットの共有と再発防止を徹底します。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	ミーティングなどを通して、どの程度の行為が虐待とされるのか共通認識をもっている。	虐待防止研修と意識向上を継続します。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	契約時に保護者様へ説明。身体拘束は現在までに無いが、身体拘束の同意書に沿って対応を行う。	身体拘束に関する説明・同意・適切な対応を徹底します。